

## JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道	(2) 記載者氏名:		会員番号:		事務局整理記入欄	北海道 - 186
分水嶺区分	1100m地点～1440m地点:H056とH057の間	(3) 山行日:	2005年	4月	30日	(4) 天候	地吹雪:曇り

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
鈴木 和夫	13172			藤内 英夫	11883		
漆崎 隆	13039						
漆崎 裕子	13040						
計				計			
3名				1名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	1100m地点	渚滑岳	142	52	5.23	44	2	10.35	1,100		6:20		C - 1
分水嶺到達点	1100m地点	渚滑岳	142	52	5.23	44	2	10.35	1,100		6:20	B-4	
	・1307m	渚滑岳	142	53	24.00	44	1	15.23	1,307	8:45	8:50	B-4	
	・1265m	渚滑岳	142	53	40.03	44	0	16.17	1,265	10:45	10:45	B-4	(9)
	・1358m	天塩岳	142	54	3.42	43	59	33.15	1,359	12:10	12:15		
分水嶺離別点	1440m地点	天塩岳	142	54	3.04	43	59	16.46	1,440	13:10			
歩行終了点	1440m地点	天塩岳	142	54	3.04	43	59	16.46	1,440	13:10			C - 2
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間00分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点


(9) 水および植生に関連した特記事項

広葉樹・針葉樹の灌木を含む疎林


(10) その他の特記事項


(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
